

カトリック大学雑感

福嶋 晴信¹

1. はじめに

今回、カトリック大学を訪問することとなったきっかけから報告したいと思う。2004年4月呉昌善総長先生と郭晩淳国際交流処長先生が来校された折に、松本市内の案内をし、短時間であったが非常に親近感を覚え再度お逢いしたかったことと、異国の地及びカトリック大学の現状を直接見たいという好奇心から即座に決断し、韓国言語文化研修に参加することとなった。

ここでは講演会、スピーチ大会、講義、文化財見学及び生活を学生とともに参加した中で、事務職員としての視点でカトリック大学の環境、雰囲気、施設等を見て、信州大学との違いを感じながら見聞したありのままを報告する。

良かったと感じられたことは、これからの信州大学において大いに参考となるよう改善案を提言していきたいと思う。

2. キャンパスの雰囲気

丘の上の公園といった雰囲気で、緑が豊富で野鳥も多い。夜間授業、韓日国際親善交流学術祭開催の為か夜11時を過ぎても学生達を見かけ、活気が感じられた。

坂が多いキャンパスであるが、全体の建物配置が良いことはもとより、庭石、植栽、芝生広場、公園風広場が整備されていて大学らしい環境が整っている。学生は私立大学ということで学則を厳格に守っているのかは定かではないが、ゴミ、落書き、違法掲示物は見られない。

サークル活動中の学生は、自由闊達に夜遅くまで活動している。行き交う学生達の顔も輝いてエネルギーが感じられた。

¹ 信州大学人文学部・経済学部事務長補佐。

3. 福利厚生施設

研修院（学生会館）は建物は古いですが、講義棟、研究室との位置バランスが良く、建物内にサークルボックス、活動スペース、劇場ホール、学生食堂、売店、セミナーハウスがあり、同一建物内に集約されていて学生、教職員の使い勝手が良い。

学生食堂は席間がゆったりとしていて、テラス風の席、眼下に町並みを見下ろす窓際席があり、食事が楽しくできそうである。テーブル、椅子は色、形ともくつろげるものである。食事メニューは豊富で味が良く、ボリュームたっぷり値段が約 200 円程度とかなり安い。

学生寮はキャンパス内にあり、小綺麗で生け花、掛け軸、憩いの部屋などがあり、寮母さんが生活全般の相談、アドバイスなどをされ心温まる雰囲気であった。

4. 校舎・講義室・図書館

傾斜地にあるがその高低差がうまく生かされ、連絡路、舗道が建物と建物をうまく繋ぎ、建物は赤レンガ造りで全体が落ち着いている。図書館、学生寮、コンサートホール、劇場ホール、礼拝堂等が校舎と同一キャンパス内にあり、学生の利便性、他の建物との配置バランスが工夫されている。

車椅子使用の学生を見掛けたのでしばらく行動を観察していたが、駐車スペース、スロープ、エレベーターが当然のごとく設置されていて、急傾斜地にも関わらず何ら問題なく学園生活ができることが判明した。

講義室は規模、スペースともほぼ信州大学と同じであるが、天井が高く床は白御影石で落ち着いている。学生用の机は窮屈でなく、物を置く棚があり便利である。図書館の規模、機能ともに充実しているのには感心した。

研修成果報告としては甚だ総論的であるが、信州大学と比較して格段の違いは、学生本位に考え設計されている点だと感じた。特に研修院、学生食堂、学生寮、図書館であり、信州大学の学生寮、サークルボックスは狭隘、汚い、分散型の惨憺たる状況であるが、カトリック大学は小綺麗であり、信州大学が見習うべきことが多数あった。韓国は現在受験戦争及び就職難の真っ只中にあり、私立大学としての経営的感覚を発揮しながら、多様な学生を確保し時代のニーズに合った先進的な質の高い教育、研究を推進して健全経営を維持していると思われる。

最後にこのような機会を与えて頂いたこと、諸手続きなど煩雑な事務処理をお願いしたこと、全体を纏めた中島代表とそれぞれ役割を率先して遂行された学生全員に対し、深く感謝申し上げますとともに、カトリック大学実行委員の学生諸君

の献身的なお世話に、心からお礼申し上げます。

交流をここまで積み上げてこられた沖裕子先生はじめカトリック大学の姜錫祐学部長、崔彰完先生、李範錫先生ほか大勢の先生と職員の皆様、国際交流処の郭処長、権課長ほか職員の皆様の労苦に対し、深く敬意を払いたいと思います。

カトリック大学の発展と未永くこの交流が続くことを願って止みません。